

## 前回の企画検討会以降の主な変更点

### 1. 「被害想定」の取り扱い

- 「被害想定」を、「(3)地域の災害リスク」(前回資料では「(6)地域のリスク評価」)に移動する。

#### 【理由】

- 前回の企画検討会で「鍵屋委員」から、以下の意見があった。
  - 体系表の3階層「災害対策の検討」の4階層に「被害想定」があるが、被害想定は独立した項目にするほど内容がないため、「地域の脆弱性」に含めて教えてはどうか。
- 前回の体系表の「(8)地域の脆弱性の理解」と「(16)災害予防対策の検討」のスライドは、「ハザード・地域の脆弱性→リスク評価→災害予防対策」の同じ図を使って説明していた。
- 「被害想定」で教える内容も少ない。

### 2. 「(10) 災害への備え」の定義

「(10) 災害への備え」について以下のように定義した。

- ① 体系表の2階層「(9) 災害対策」は、以下の3つで構成
  - 「災害予防対策」(被害の発生を予防するための対策)
  - 「災害対応対策」(「災害対応業務」を迅速かつ円滑に実施するための対策)
  - 「災害対応業務」(災害時の活動のこと)
- ② 「災害対応業務」を3階層「(11) 警報避難」～「(14) 復旧復興」に分類し、各項目に関連する「災害対応業務」、「災害予防対策」、「災害対応対策」の3つすべてを教える。
- ③ 3階層「(10) 災害への備え」では、「(11) 警報避難」～「(14) 復旧復興」で教える以外の「災害予防対策」と「災害対応対策」について教えるということ。

#### 【理由】

前回の企画検討会で「黒田委員」と「林座長」から、以下の意見があったため、委員意見を踏まえて修正した。

(黒田委員)

- 前回資料の3階層の「(21) 応急活動」から「(23) 復旧復興」までについては、「実施(災害対応)」と「準備(予防対策)」の両方が含まれているという考え方で、災害予防対策と峻別できるよう設計したほうが教えやすいのではないか。

(林座長)

- 前回資料の3階層の「(16) 災害予防対策の検討」から「(18) 被害軽減策」は予防対策として教えるが、それでは完結せず、災害対応の備えは災害対応(警報避難～復旧復興)の中で教える。両者はパックとして教える。

### 3. 研修内容の重複の考え方

- 第5階層までは重複なしで設定する。第5階層ごとに設定する学習目標についても重複なしで設定する。ただし、当該学習目標を達成するために設定する学習内容(第6階層)については、他单元との重複を許容する。
- 各コースの総論、演習については重複が前提である。